

三重県へインフラ整備及び維持管理の予算措置を要望

三重県商工会議所連合会

三重県商工会議所連合会は、平成29年1月13日（金）三重県へ平成29年度予算編成に向けた要望をおこないました。

当連合会からは岡本直之会長（津商工会議所会頭）、谷川憲三副会長（松阪商工会議所会頭）、専務理事3名が出席し、鈴木知事に要望書を手渡しました。

要望内容は「平成29年度予算策定において、公共事業やインフラ整備に係る予算も大幅な削減対象と聞いているが、産業活動の基盤となるインフラ整備やインフラの健全な維持管理は休むことなく、減らすことなく実施し続ける」ように、予算措置を要求しました。

鈴木知事は「困難な予算編成ではあるが、必要な部分について知恵を使ってやってゆきたい。優先順位を市町とも相談し、産業の下支えになるように考えてゆきたい」と述べられました。



▲鈴木知事へ要望書を手渡す岡本会長（中）、谷川副会長（左）